

# 中学生の皆さんへ

国立高等専門学校の入試にマークシート方式による解答方法を導入します。

国立高等専門学校の入試（入学者選抜学力検査）が、平成28年度入試（平成28年2月実施）から全ての教科で**マークシート方式による解答方法**になります。

**マークシートって難しくありませんか？**  
全国学力・学習状況調査など、中学生の皆さんも、一度は見たことがある方法です。決して特別な技術が必要な試験ではありません。

**試験問題の難易度は変わりますか？**  
マークシート方式になっても試験の難易度は変わりません。中学校までの学習内容に応じた試験問題です。

**特別な筆記用具が必要ですか？**  
皆さんが普段から使っている鉛筆（HB）で大丈夫です。シャープペンシルは、メモ書きや計算のために使うことはできますが、解答用紙はHBの黒鉛筆で塗りつぶしてください。  
消しゴムも、普段から使用しているもので大丈夫です。

**試験時間は変更されますか？**  
（長くなるor短くなる）  
1教科につき50分の試験時間は変更はありません。



**事前にマークシート方式の解答用紙を閲覧することはできますか？**  
高専機構のホームページに過去問題をマークシート方式の解答方法に変更した場合のサンプルを掲載をする予定です。

**鉛筆は何本、用意すればいいですか？**  
鉛筆削りを持参することが認められており、試験と試験の間などに鉛筆を削ることもできますが、予備を含めて複数本持参するようにしてください。



高専機構のホームページにも注意事項などを随時掲載しますので、各自でマークシートへの準備をお願いします。

高専機構ホームページ <http://www.kosen-k.go.jp/marksheet.html>

独立行政法人国立高等専門学校機構学務課  
〒193-0834 東京都八王子市東浅川町701-2  
担当：村上・井上  
TEL：042-662-3140  
FAX：042-662-3227  
e-mail：[gakumu@kosen-k.go.jp](mailto:gakumu@kosen-k.go.jp)  
または、[最寄りの国立高専](#)まで

マークシート方式導入に関する想定問答集（受検生向け）

問 マークシートって難しくないですか？
答 マークシート方式による解答方法は、全国学力・学習状況調査などでも採用されているため、一度は目にしたことがある方法です。決して特別な技術が必要な試験ではありません。
問 解答方法がマークシート方式に変更されることに伴い、問題の難易度も変更になりますか？
答 マークシート方式だからといって、前年度までの問題と比較して難易度が大きく変わることはありません。中学校までの学習内容に応じた試験問題です。
問 マークシート方式を導入することで試験時間の延長や実施教科に変更はありますか？
答 特に試験時間や実施教科の変更はありません。
問 HBの黒鉛筆を持参することが求められていますが、何本必要ですか？
答 小型の鉛筆削りを持参することができます。試験と試験の間などに鉛筆を削り直すこともできますが、予備も含めて複数本を持参してください。
問 HBの鉛筆以外の筆記用具を使用しても大丈夫ですか？
答 HやFの鉛筆だと、薄くなってしまったり、消した跡にくぼみが残ってしまう場合があります。またBの鉛筆だと、消しゴムで消しても薄く残ってしまったり、手などでこすれてしまう可能性があります。 シャープペンシルは、解答が正しく読み取ることができない場合がありますのでHBの黒鉛筆を使用してください。
問 消しゴムや鉛筆はマークシート専用でなければダメですか？
答 特に消しゴムや鉛筆がマークシート専用である必要はありません。使い慣れたものを用意してください。
問 鉛筆削りを持参することはできますか？また、鉛筆を削るための小刀（カッターナイフ、 <sup>ひごのかみ</sup> 肥後守等）はどうですか？
答 小型の鉛筆削りを持参することは、問題ありません。小刀を持参することは、危険ですので控えてください。
問 願書についてもOCR用紙やWEBによる出願に変更されるのですか？
答 入学願書については、調査書を在籍する中学校の先生方が記載する必要があり、OCR用紙やWEBによる出願は想定していません。従来どおりの用紙ですので、詳しくは志望する高専の募集要項で確認してください。
問 事前にマークシート方式の解答用紙（サンプル）を見ることはできますか？
答 高専機構のホームページに、過去問題をマークシート方式の解答方法に変更した場合のサンプルを掲載する予定です。そちらからイメージを確認してください。